経営比較分析表(令和5年度決算)

兵庫県 多可町

120.00

100.00

80.00

40.00

20.00

0.00

当該値

平均値 57.31

99.22

68.11

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	62.53	30. 11	82.83	3. 795

ᄱᅅ	面積(km²)	人口密度(人/km²)
18, 966	9. 13	2,077.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
5, 689	2.40	2, 370. 42

1 500 00

1,000.00

500.00

0.00

826, 83

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

[785.10]

1,504.62

743. 31

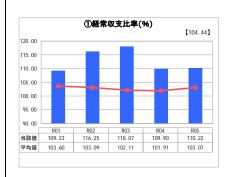
経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率については100%以上となってお
- 収支は黒字になっている。これは、繰入基準の
- 流式下水道等に要する経費を繰入しているため
- あり、一般会計からの補助金に頼るところも大
- いので、補助金額の増減に影響されるところで
- 流動比率は100%以上で、短期的な債務に対する
- 返済は改善し、また、企業債残高対事業規模比 についても、償還計画に基づき着実な改善が行
- ている。
- ・企業債残高対事業規模比率が類似団体と比較し
- 高くなっているのは、本町が中山間地域にある
- -め処理人口が小規模の割に当初の下水道管渠建
- に多額な費用がかかり、その地方債借入額が高
- であることが影響していると考えられる。 経費回収率については、分流式下水道等に要す
- 経費を繰入しても100%未満となっているため、

老朽化の状況について

管渠は、最も古いもので建設から30年経過程 度で、直ちに老朽化の問題があるわけではない が、将来の改築更新に係る財源確保に関して考え ていく必要がある。

1. 経営の健全性・効率性



⑤経費回収率(%)

99.51

67.23

109.82

61.82

[56.93]

85.03

61.15

300.00

250.00

200.00

150.00

100.00

当該値 177.03

平均値 273.52



⑥汚水処理原価(円)

177.03

228.21

160.88

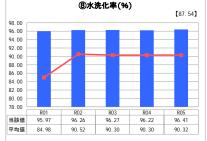
246 90

176. 16

222.41







④企業債残高対事業規模比率(%)

1, 708. 21

778.81

1, 649. 37

718, 49

1,850.99

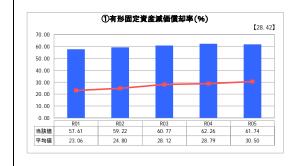
783.80

2. 老朽化の状況

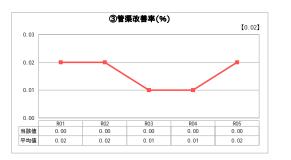
[271.15]

208.03

250.43







全体総括

本事業は、処理人口約6,000人に対し8処理区と なっている。このことにより、施設建設の費用に 係る地方債借入が多額になったや、小規模処理場 であるため維持管理費が割高であることが経営を

なお、現在、処理施設の統廃合により5処理区 とする事業を進めている。

また、今後、処理施設や管渠の更新を考慮した 中長期的な収支計画を策定し、料金改定の検証を 行うことで健全な経営に繋げたい。

「経常収支比率」、「累積欠積金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管學老析化率」については、法非適用企業では箟出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を箟出しています。